

## 生きる

私たちは、戦後70年以上もの間、戦争のない国に生きています。毎日、様々な事件や事故が起きますが、他国に比べれば、安全な中で生きていることが当たり前になっています。そのため、「生きる」とはどういうことなのか、意識することのないまま、毎日を過ごしているように思います。

「生きる」とは、「自分の命を大切に生きる」ということです。私たちは、一つしかない、かけがえのない命をもって生きています。授（さず）かった命を大切に生きるということは、命を粗末（そまつ）にしないことはもちろんのこと、自分のよさを発揮して、自分らしく生きていくということです。

中学生のこの時期は、よりよく生きるために、自分自身に磨きをかけ、人間としての誇りを高めながら、将来の自分づくりの準備をしている時期です。同時に、他人の命も心も大切にすることとは言うまでもありません。人を思いやる、思いやりの心を決して忘れてはいけません。

また、「人のため、社会のために、自分を生かす」ことも「生きる」です。皆さんは、学校生活のほとんどを、学級や部活動、委員会活動などの集団の中で活動し、生活しています。自分が所属する集団において、何らかの形で周囲のために役割を果たしながら貢献（こうけん）するなど、自分を生かして行ってほしいと思います。

そうすることが、数年後に自分が社会人となり、自分が選んだ職業において、自分のもっているよさや持ち味を生かしていくことにもつながっていきます。まだまだ先のことかもしれませんが、自分のもっている力や可能性を伸ばすために、今、一番心を傾（かたむ）けて努力しなければならないことは何かを考えてください。それを形にして、日々生活していくことが大切です。

さらに、「自分が生かされていることに感謝する」ことも「生きる」です。私たちは、周りの人に支えられて生きています。人は一人では生きていけません。人とかわりながら、支えられながら、生かされながら、人の間で生きています。だから、自分を取り巻く家族・友達・かわりのある方々に対して、「ありがとうございます」などのように、家庭で、学校内で、地域で、感謝の心を声に出し、形に表し、生活してほしいと思います。

自分を大切に生きる。人のため、社会のために、自分を生かす。自分が生かされていることに感謝する。これらは私たちの使命です。